

DRK-H67N (08671-K9008)

ナビ連動ドライブレコーダー 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

ダイハツ工業株式会社

お詫びと訂正

取扱説明書の記載に誤りがありました。
お詫びとともに以下のように訂正させていただきます。

● 4ページ

<誤>

■録画時のマイクの音声を設定する

録画時にマイクの音声を記録するかしないかを設定します。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
本機の POWER ボタンを押しても設定を切り替えることができます。

<正>

■録画時のマイクの音声を設定する

録画時にマイクの音声を記録するかしないかを設定します。お買い上げ時は「ON」に設定されています。
本機の POWER ボタンを押しても設定を切り替えることができます。

● 12ページ

<誤>

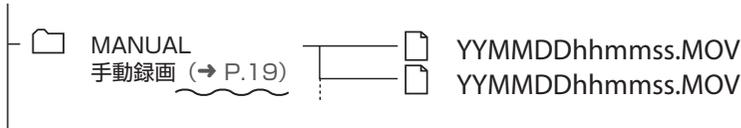
音声ガイダンス	異常状態
SDカードがありません (電源オン時にガイダンスしてから 3分後に再度ガイダンスします。)	SDカードが入っていない。

<正>

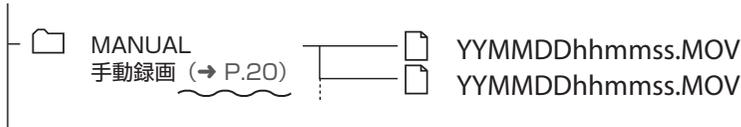
音声ガイダンス	異常状態
SDカードがありません (電源オン時にガイダンスしてから 再度ガイダンスしません。)	SDカードが入っていない。

● 22ページ

<誤>



<正>



● 46ページ

<誤>

走行中、頻繁にイベント（衝撃）記 録モードの録画が実施されます。	ビューアソフトでセンサー感度を調整する（→ P.42）ことができます。
-------------------------------------	--

<正>

走行中、頻繁にイベント（衝撃）記 録モードの録画が実施されます。	ビューアソフトでセンサー感度を調整する（→ P.43）ことができます。
-------------------------------------	--

ドライブレコーダー機能ガイド

本機は付属の microSD カードにデータを録画保存します。
必ず microSD カードを挿入してからお使いください。

P.14

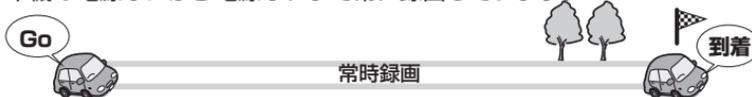
録画機能について

本機は運転している（本機の電源がオンになっている）間の映像を録画することができます（常時録画）。

さらに、運転中や駐車中に車両に大きな衝撃が加わった前後または衝撃後の映像を記録することができます（イベント（衝撃）記録 / 駐車録画モード）。

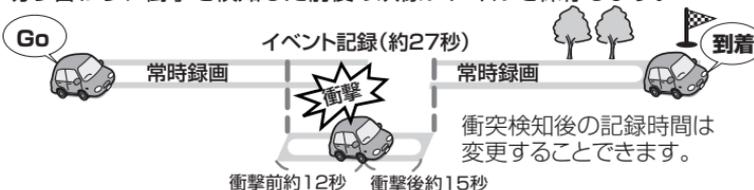
常時録画（連続録画）モード P.18

本機の電源オンから電源オフまで常に録画しています。



イベント（衝撃）記録モード P.18

本機が衝撃を検知すると常時録画からイベント（衝撃）記録に切り替わり、衝撃を検知した前後の映像ファイルを保存します。



駐車録画モード P.21

駐車場などに車を停めてエンジンスイッチをオフにする
と駐車録画モードに入り、車両に衝撃を検知すると録画を開始*します。

駐車録画機能 待機中

駐車録画開始



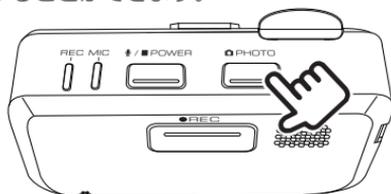
駐車録画モードは、約 10 秒（お買い上げ時）録画してファイルに保存します。
録画時間は変更することができます。

「駐車録画の録画時間」の設定（→ P.29）「録画時間」の設定（→ P.42）

*駐車録画開始時間設定（降車時）/駐車録画停止時間設定（乗車時）の間に衝撃があった場合は録画できません。

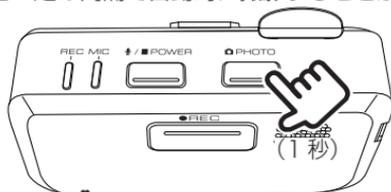
■ その他の録画機能

静止画記録：本機の PHOTO ボタンを押すと、撮影中の映像を静止画として記録することができます。



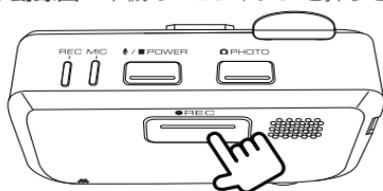
P.19

自動静止画撮影：本機の PHOTO ボタンを押し続けると、設定した枚数の静止画を一定の間隔で自動的に撮影することができます。



P.19

手動録画：本機の REC ボタンを押すと、映像を手動で録画することができます。



P.20

本機の設定をする

録画機能や、衝撃検知の感度などの設定を変更できます。
設定は接続しているナビゲーションのモニター画面で設定する、またはビューアソフトで設定することができます。

ナビゲーションで設定する



P.28

ビューアソフトで設定する



P.41

■ 録画画質を変更したい

録画画質は、2304 × 1296 / 1920 × 1080 (お買い上げ時の設定) / 1280 × 720 から選べます。画質の種類、録画時間 / 記録枚数の目安は 17 ページをご覧ください。

■ 録画ファイルの上書き設定を変更したい

イベント（衝撃）記録モード、手動録画モード、駐車録画モードで録画されたファイルの保存可能領域がなくなったときに、古いファイルから自動的に上書きすることができます。お買い上げ時は、上書きする「ON」に設定されています。

■ 録画時のマイクの音声を設定する

録画時にマイクの音声を記録するかしないかを設定します。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。本機の POWER ボタンを押しても設定を切り替えられます。

ビューアソフトについて

ビューアソフトは、本機に付属の microSD カードの中に保存されています。インストールについては 31 ページの「インストールする」をご覧ください。

目次

ドライブレコーダー機能ガイド	2	フォルダ / ファイル構成	22
録画機能について	2	録画または記録した	
本機の設定をする	3	ファイルを再生する	23
ビューアソフトについて	4	再生画像を拡大表示する	25
安全に正しくお使いいただくために	6	ファイルを保護または削除する	26
使用上のご注意	8	ファイルを保護する	26
本機のお手入れ	10	ファイルを削除する	26
本機の異常にお気づきのときは	10	設定を変更する	28
各部の名称とはたらき	11	ビューアソフトを使う	31
LED / 報知音による通知	12	DRK-H67 Viewer の動作環境	31
電源をオン / オフする	13	インストールする	31
電源をオンにする	13	ビューアソフトを使う	32
電源をオフにする	13	メモリーカードのインストーラーを 消去してしまったときは	32
本機の電源のみオフにする	13	準備	32
本機のバックアップ電源について	13	画面の操作	32
メモリーカードを取り出す / 入れる	14	Google Earth で使用するデータを 出力して読み込む	37
ナビゲーションに映像を 表示する	15	メモリーカードのデータをパソコンに バックアップする	38
ナビゲーションを設定する	15	バックアップフォルダーを 設定する	38
ドライブレコーダーの映像を 表示する	15	バックアップした映像を見る	40
画面の見かたと操作	16	本体の設定を変更する	41
録画する	17	設定を変更する	41
画質の種類	17	メモリーカードを フォーマットする	44
録画時間 / 記録枚数の目安	17	ナビゲーションを操作して フォーマットする	44
電源オン時の録画と記録	18	専用サイトにアクセスして フォーマットする	45
常時録画（連続録画）モード	18	よくある質問	46
イベント（衝撃）記録モード	18	主な仕様	49
静止画記録	19	ソフトウェアについて	50
自動静止画撮影	19	保証とアフターサービス	52
手動録画モード	20		
電源オフ時の駐車録画モード	21		
駐車録画モード	21		

安全に正しくお使いいただくために

この取扱書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	記載事項を守らないと、重大な傷害や事故・車両火災におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあること。
 注意	記載事項を守らないと、傷害につながるおそれがあること。
注意	記載事項を守らないと、車両や装備品の故障や破損につながるおそれがあること。

警告

- **本機は DC12V ⊖アース車以外で使用しない**
火災や故障の原因になります。DC12V ⊖アース車以外で使用しないでください。
- **機器内部に、水や異物を入れない**
金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。
- **故障や異常な状態のままで使用しない**
画像が記録できない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。
- **運転者は走行中に操作したり、表示を注視したりしない**
必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。
- **雷が鳴り出したら、本機やカメラに触れない**
落雷による感電の原因となります。
- **エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取付と配線をしない**
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、お買い上げの販売会社に作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。
- **前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取付けをしない**
交通事故やケガの原因になります。
- **取付けには保安部品のボルトやナットは絶対に使用しない**
交通事故やケガの原因となります。
- **ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は必ずお買い上げの販売店に依頼する**
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因になります。
- **異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する**
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。
- **分解・修理および改造はしない**
分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのとは絶対におやめください。火災、感電、故障の原因となります。

● **機器の通風口や放熱板をふさがない**

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

● **本機を車載用以外で使用しない**

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

● **microSD メモリーカード挿入口に手や指を入れない**

ケガの原因となります。

● **microSD メモリーカードは、お子様に触れさせない**

誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な障害につながります。また最悪の場合、死亡につながるおそれがあります。

● **危険な運転はしない**

本機が衝撃を検知するかを確かめるため故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。

● **コードの扱いに注意する**

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

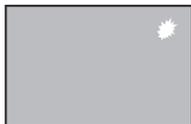
注意

- 本機に付属または純正の microSD メモリーカードを使用してください。付属または純正品以外のメモリーカードでは正しく動作しないことがあります。
- microSD メモリーカードには、本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- 車検証シールを貼り替えるときは、カメラの撮影範囲内に車検証シールを貼らないようにしてください。
- 本機は、危険運転の際の状況を記録することが目的です。イタズラその他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、強い力やショックを与える、落とすなどはしないでください。火災、故障のおそれがあります。
- 本機は直射日光が当たると、高温になり、火傷をする可能性があります。
- フロントガラスのお手入れの際は、本機の固定具およびカメラのコードを強く引っ張らないでください。本機の固定具がはずれた場合は、お買い上げの販売会社へご相談ください。
- クリーナーなどのスプレーや水分等を本機にかけないでください。
- 本機の取付場所の変更は、安全のため必ずお買い上げの販売会社に依頼してください。取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付配線は、ケガの原因となります。
- 作業前はバッテリーの⊖端子を外してください。⊕と⊖経路のショートにより、感電やケガの原因となります。
- 本機は常時記録型の映像を記録する装置ですが、全ての状況において映像を録画/記録することを保証したものではありません。

フロントガラスへの取り付けに関し、平成11年12月27日告示の道路運送車両の保安基準第29条4項7号（国土交通大臣または地方運輸局長が指定したもの）に対する運輸省告示第八百二十号への適合性に対し、保安基準に適合する商品として、当該箇所への装着に対し、車両検査の対象品として基準を満たす商品であることを確認しています。本製品はダイハツ純正部品取付要領書の通りに、正しく取り付けされた場合に限り、保安基準に適合いたします。取付要領書の指示以外の取り付け方や、そのほかの改造などを行ったときにその適合性を保証するものではありません。

使用上のご注意

- 高温、低温でのご使用は、誤動作や故障の原因になります。特に夏期については車内が高温になることがありますので窓を開けるなど車内の温度を下げてください。
- カメラレンズの近くに反射物を置かないでください。
- 自動車のフロントガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人や障害物が実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- コードにキズをつけないでください。キズ部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ故障や火災、感電の原因になります。
- フロントガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象（※）が発生したり、その光源中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。



（※）ブルーミング現象：高輝度の被写体（太陽やヘッドライトなど）がカメラに映ると、光周辺に白飽和が発生する

- 本機の日時や位置情報を定期的に確認してください。日時がずれているときや、位置情報が変わらないときはお買い上げの販売店にご相談ください。
- microSD メモリーカードの抜き挿しは、本機の電源が切れていること（LED が消灯）を確認して行ってください。本機が動作中に microSD メモリーカードの抜き挿しを行うと、microSD メモリーカードが破損するおそれがあります。
- microSD メモリーカードのデータへのアクセス中（LED が点灯中）は、絶対に microSD メモリーカードを抜かないでください。microSD メモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障するおそれがあります。
- 以下の場合などは、衝撃の検知による映像の記録ができないことがあります。
 - 本機に microSD メモリーカードを挿入していない場合
 - microSD メモリーカードの破損、故障、寿命等で正常な記録や読み出しができない場合
 - 本機から microSD メモリーカードを抜いた場合

- 本機に付属または純正の microSD メモリーカード以外を使用した場合
- 記録した古い映像が、新しい記録によって消されて（上書きされて）しまった場合
- 事故や水没などで本機および microSD メモリーカードが損傷を受けた場合
- 事故の場合などでバッテリーと本機間の電源コードが断線した場合、または、バッテリーが損傷を受けた場合
- 以下の場合などは、衝撃の検知による映像の保存ができないことがあります。
 - 衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合
 - 本機の本体が適切固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合
- 映像が記録されなかった場合や記録されたファイルが破損していた場合による損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については、弊社は一切責任を負いません。
- 本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本機で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的では使用しないでください。これらの場合については弊社は一切責任を負いません。
- 本機は映像を記録する装置ですが、必ずしも信号の状態が確認できることを保証した装置ではありません。環境によって信号が確認できない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。信号が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
- 夜間にナビの画面や、昼間太陽光を反射してダッシュボード等がガラスに映り込み、映像に残る場合があります。また外部環境により映像画質が変化します。
- 本機は常時記録型の映像記録装置です。microSD メモリーカードの記録が一杯になると古い映像から消して新しい映像を記録（上書き）します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンスイッチをオフ（ACC をオフ）にし、microSD メモリーカードを抜いて必要なデータをパソコンに保存するなどの対応を行ってください。
- LED 式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED 式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。
- 車両のバッテリーを外すと本機の時計が正しく表示されないことがあります。GPS の情報を受信した次回起動時から正しい時刻になります。バッテリーから外した後は、記録されている映像のファイル名や位置情報で GPS 情報が受信できたかどうかを確認してください。
- microSD メモリーカードは、半永久的に記憶を保持できるものではありません。大切な録画データは、パソコンにコピーするなどのバックアップを行ってください。
- 使用温度範囲内での使用にて本体が熱くなることがあります。本体の動作により発熱しているだけで、故障ではありません。使用温度範囲を超えた環境での使用は、故障の原因となりますので使用温度範囲内で使用ください。
- 販売店にて、車両のメンテナンス、修理をさせていただく際、お客様の録画データを保護するため、本機の録画を停止させていただく場合がございます。

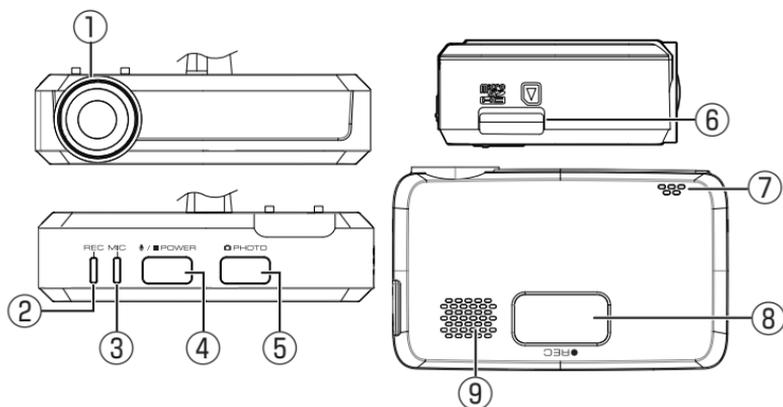
本機のお手入れ

- 本機が汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、キズが付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- レンズ部が汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると傷の原因になります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず 46 ページの「よくある質問」を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買上げの販売店にてご確認ください。

各部の名称とはたらき



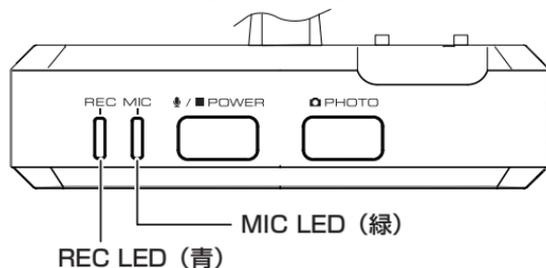
- ① **カメラ**
- ② **REC LED**
録画中に点灯（青色）します。
- ③ **MIC LED**
音声記録 ON 設定時に点灯（緑色）します。
- ④ **POWER ボタン**
 - 押すたびに音声記録をする / しないを設定します。
 - 本機がオフ中に1秒以上押し続けると電源をオンします。
 - 本機がオン中に1秒以上押し続けると電源をオフします。
- ⑤ **PHOTO ボタン**
 - 静止画を撮影記録します。
 - 押し続けると自動静止画機能をオンにします。
- ⑥ **microSD メモリーカード（以降、メモリーカード）挿入口**
- ⑦ **マイク**
録画中の音声を収録します。マイクは本体に内蔵されています。
- ⑧ **REC ボタン**
押すと手動で録画します。
- ⑨ **スピーカー**
音声ガイドや報知音を出力します。

お知らせ

- 録画したファイルをナビゲーションで再生したときの音声を本機のスピーカーから出力されます。ナビゲーションのスピーカーからは出力されません。

LED/報知音による通知

LED と音声、報知音で本機の状態をお知らせします。



■ 通常通知 / 駐車時録画

条件	報知音	LED	
		REC (青色)	MIC (緑色)
常時録画開始	ピコン (↑)	点灯	—
常時録画停止	ピコン (↓)	消灯	—
手動録画開始	ピコン (↑)	点灯	—
イベント (衝撃) 記録開始	ピロリン (↑)	点灯	—
静止画記録	カシャ	—	—
静止画自動記録開始	ピピコン (↑)	—	—
静止画自動記録停止	ピピコン (↓)	—	—
駐車録画開始	ピロリン (↑)	点灯	—
駐車録画停止	ピコン (↓)	消灯	—
ファイル数制限で記録できず	ダダダダ	—	—
音声記録 ON	ブツ	—	点灯
音声記録 OFF	ブツ	—	消灯

■ エラー通知

音声ガイダンス	異常状態
SD カードがありません (電源オン時にガイダンスしてから 3分後に再度ガイダンスします。)	SD カードが入っていない。
SD カードの初期化が必要です	SD カードが不正またはフォーマットしていない。
SD カードエラーです	SD カードが異常または認識できないメモリー カードを挿入している。
録画を中止しました	異常検出により録画を停止した。
駐車記録があります	駐車録画モード中に録画が実施された。

電源をオン/オフする

電源をオンにする

車両のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」にすると本機の電源がオンになります。電源がオンになると、REC LED（青色）が点灯し、常時録画（連続録画）が始まります。

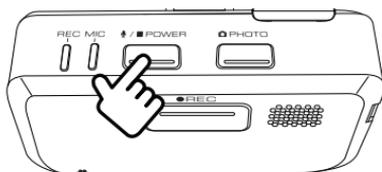
電源をオフにする

車両のエンジンスイッチを「OFF」にすると本機の電源がオフになり、駐車録画モードになります。

本機の電源のみオフにする

車両のエンジンをかけたまま、本機の電源のみをオフにすることができます。また手動で電源をオフにすると、次に車両のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」にするまで、駐車録画機能はオフになります。

- 1 車両のエンジンスイッチが「ACC」または「ON」のときに「POWER」ボタンを1秒以上押し続ける



お知らせ

- 駐車録画機能をオフにすることで、駐車中に振動するタワーパーキング等での駐車録画の誤動作を防止することができます。

■ 手動で電源をオンにするには

- 1 「POWER」ボタンを1秒以上押し続ける

電源がオンになると常時録画を開始します。

本機のバックアップ電源について

本機は、事故の衝撃で電源が遮断される場合を想定し、バックアップ電源を内蔵しています。バックアップ電源は充電式のため、電源オン直後や低温下では、バックアップ時間が短くなる場合があります。バックアップ電源により、電源遮断前の映像を記録しますが、必ず記録することを保証するものではありません。

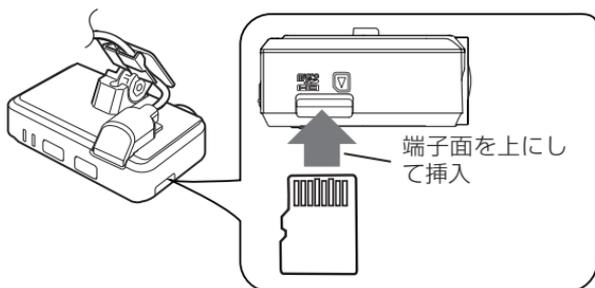
メモリーカードを取り出す / 入れる

お知らせ

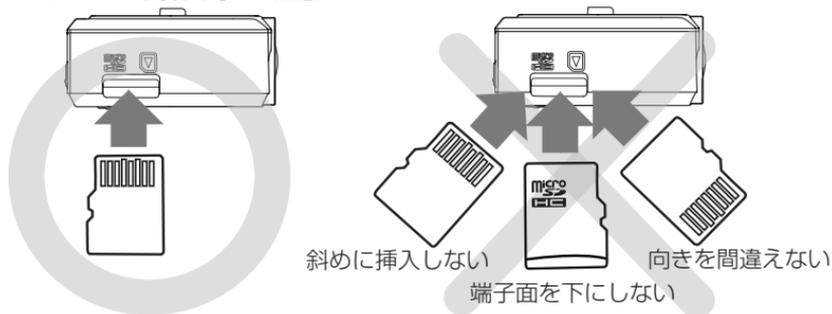
- メモリーカードを取り出すときは、本機の電源がオフ（LEDが消灯）になっていることを確認してください。
- メモリーカードへアクセス中（LEDが点灯）はメモリーカードを取り出さないでください。
- メモリーカードには本機で記録されるデータ以外保存しないでください。
- メモリーカードを挿入しないと、本機は動作しません。メモリーカードの入れ忘れにご注意ください。

1 車両のエンジンスイッチを「OFF」にして本機の電源をオフにする

2 付属のメモリーカードの端子面を上にして挿入する



メモリーカード挿入時のご注意



■メモリーカードを取り出すには

1 車両のエンジンスイッチを「OFF」にして本機の電源をオフにする

2 メモリーカードを押して、メモリーカードが少し飛び出たら引き抜く

ナビゲーションに映像を表示する

ナビゲーションを設定する

- 1 ナビゲーションの「MENU」ボタンを押す
- 2 「情報・設定」にタッチする



- 3 「外部機器」にタッチする



- 4 「その他」にタッチし、「EXP コネクター接続」にタッチする
- 5 「ドライブレコーダー」にタッチする



ドライブレコーダーの映像を表示する

- 1 ナビゲーションの「MENU」ボタンを押す
- 2 「ドライブレコーダー」にタッチする



ドライブレコーダーの映像が表示されます。

- 3 画面にタッチする



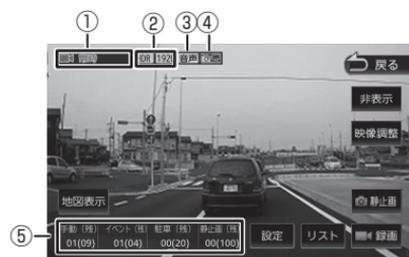
操作ボタンが表示されます。

お知らせ

- 操作ボタンは一定時間が過ぎると消えます。画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。
- ナビゲーション画面に戻っても、本機は録画を続けます。録画をやめたいときは、アクセサリ電源 (ACC) または本機の電源をオフにしてください。

画面の見かたと操作

映像表示モード



- ① 録画モードと録画残時間
(イベント録画 / 手動録画のみ表示)
- ② HDRが「ON」のときに表示 / 録画画質
- ③ 音声録音あり **音声** / なし **音消**
- ④ 自動静止画撮影モード ON / OFF
- ⑤ 保存ファイル数 (撮影可能ファイル数)

表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
地図表示	地図表示モードに切り替えます。
設定	ドライブレコーダー設定を表示します。(→ P.28)
リスト	録画ファイルリストを表示します。(→ P.23)
録画	手動録画を開始します。(→ P.20) 手動録画モード中では、録画時間を延長します。
静止画	<ul style="list-style-type: none"> ・静止画を撮影します。(→ P.19) ・押し続けると自動静止画撮影機能を開始します。(→ P.19)
映像調整	ナビゲーションの画質を調整します。調整方法はナビゲーションの取扱説明書をご覧ください。
非表示	操作ボタンを消します。

地図表示モード



一定時間操作が無いと一部の操作ボタンが消えます。タッチすると再度表示します。



小画面の映像にタッチすると映像表示モードに切り替わります。

お知らせ

- ・映像調整は、録画される映像の画質には影響しません。
- ・地図表示モードでは地図をスクロールできません。
- ・地図の向きと縮尺は変えることができます。
- ・電源オフ / オンで地図表示モードは解除されます。

録画する

本機は、電源オン時に常時録画モード、イベント（衝撃）記録モード、手動録画モード、静止画記録、自動静止画撮影の5つのモードがあります。電源オフ時には駐車録画モードがあります。

お知らせ

- 次の状態のときは録画モードは動作しません。
 - 録画したファイルを再生しているとき
 - メモリーカードが挿入されていないとき
 - ファイルの上書き設定が「OFF」に設定されていて、最大保存できるファイル数や時間が最大になったとき
 - 録画ファイルリスト画面を表示したとき
 - ドライブレコーダー設定画面を表示したとき

画質の種類

本機は動画を録画するときの画質を設定することができます。

■ 画質の種類（解像度）

「2304x1296」/「1920x1080(HDR)」/「1920x1080」/「1280x720(HDR)」/「1280x720」

- お買い上げ時は「1920x1080(HDR)」に設定されています。
- 設定を変更したいときは29ページの「録画画質」、または42ページの「解像度」の設定をご覧ください。
- 静止画は、録画画質 / 解像度の設定と同じ解像度で保存されます。

録画時間 / 記録枚数の目安

付属のmicroSDカード8GBの場合

撮影モード	録画画質 / 解像度		
	2304x1296	1920x1080/ 1920x1080(HDR)	1280x720/ 1280x720(HDR)
常時録画	最大 50 分	最大 70 分	最大 100 分
イベント（衝撃） 記録	最大 5 件（1 件あたり衝撃検知前 12 秒と衝撃検知後 15/30/60 秒より録画時間を設定することができます。）		
手動録画	最大 10 件（1 件あたり手動録画前 12 秒と手動録画後 15/30/60 秒より録画時間を設定することができます。）		
駐車録画	最大 20 件（1 件あたり 10 秒 / 20 秒 / 30 秒より録画時間を設定することができます。）		
静止画	最大 100 枚		

お知らせ

- 録画時間と記録枚数は、メモリーカードに保存されているファイルにより異なります。
- 大切なデータはすぐにパソコンなどへバックアップを行ってください。

電源オン時の録画と記録

本機の電源がオンになると常時録画（連続録画）を開始します。

常時録画（連続録画）モード

本機の電源がオンになると、常時録画（連続録画）を開始します。常時録画の最大録画時間は、解像度の設定によります。

お買い上げ時は「1920 x 1080 (HDR)」に設定されています。

- 録画ファイルの1ファイルごとの録画時間は1分間です。
- 1ファイルごとの録画時間を変更したいときは29ページの「常時録画の1ファイル毎の録画時間」、または42ページの「常時録画ファイル長」をご覧ください。
- 画質（解像度）の設定を変更したいときは29ページの「録画画質」、または42ページの「解像度」をご覧ください。

お知らせ

- ・メモリーカードの録画領域がなくなると古い日時のファイルから順に消して録画を続けます。

■ 録画ファイルの保存場所

メモリーカード内の「NORMAL」フォルダに保存されます。（→ P.22）

イベント（衝撃）記録モード

常時録画中に突発的な衝撃などを検知すると、常時録画を中断してイベント（衝撃）記録モードを開始します。

- イベント（衝撃）記録モードの記録時間は、衝撃検知前の12秒と衝撃検知後の15/30/60秒から選択できます。イベント記録が終了すると常時録画に戻ります。



- イベント記録が終了する前にさらに衝撃を検知するとそこからイベント（衝撃）記録が設定されている記録時間分延長されます。

お知らせ

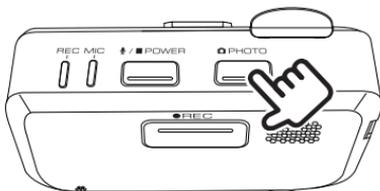
- ・イベント（衝撃）記録モードは最大5ファイルまで保存されます。5ファイルを超えると古いファイルから順に上書きされますが、「イベント記録ファイルの上書き保存」/「上書き設定（イベント）」を「OFF」に設定しているときは古いファイルは上書きされません。この場合、最大5ファイルを超えるため記録は開始されません。必要に応じて、メモリーカードの必要なデータをパソコンに保存し、不要なデータを削除してください。

■ 録画ファイルの保存場所

メモリーカード内の「EVENT」フォルダに保存されます。（→ P.22）

静止画記録

常時録画中にモニターのドライブレコーダー画面で「静止画」にタッチする、または本機の「PHOTO」ボタンを押すと、静止画が記録されます。



- 静止画は最大 100 枚まで保存されます。
- 静止画の解像度は、「録画画質」 / 「解像度」の設定と同じ解像度で保存されます。(→ P.29、P.42)

お知らせ

- ・ 100 枚を超えると古い日時のファイルから順に消します。
- ・ 録画中に静止画を記録しても録画は中断されません。

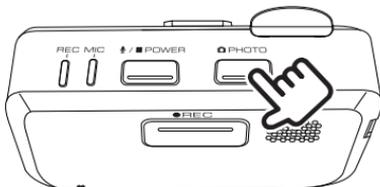
■ 静止画ファイルの保存場所

メモリーカード内の「PICTURE」フォルダに保存されます。(→ P.22)

自動静止画撮影

設定した枚数を一定の間隔で自動的に静止画を撮影します。

モニターのドライブレコーダー画面で「静止画」にタッチし続ける、または本機の「PHOTO」ボタンを押し続けると、自動静止画記録機能が開始します。



本機の「PHOTO」ボタンを押し続ける、または設定されている枚数が撮影されると、自動静止画撮影機能は終了します。

- 撮影する枚数を変更したいときは 29 ページの「自動静止画連続撮影の撮影枚数」、または 43 ページの「自動撮影枚数」をご覧ください。
- 撮影する間隔を変更したいときは 29 ページの「自動静止画連続撮影の撮影間隔」、または 43 ページの「自動撮影間隔」をご覧ください。
- 静止画の解像度は、29 ページの「録画画質」と 42 ページの「解像度」の設定と同じ解像度で保存されます。

お知らせ

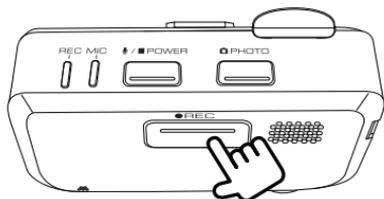
- 下記の場合、自動静止画撮影機能がオフになります。
 - 本機の電源をオフにした場合
 - ドライブレコーダー設定画面を表示した場合
 - 録画ファイルリスト画面を表示した場合
 - 本機の SD カードが取り出された場合
 - 本機の「PHOTO」ボタンを 1 秒以上長押しした場合 (自動静止画撮影機能 ON 時)

■ 静止画ファイルの保存場所

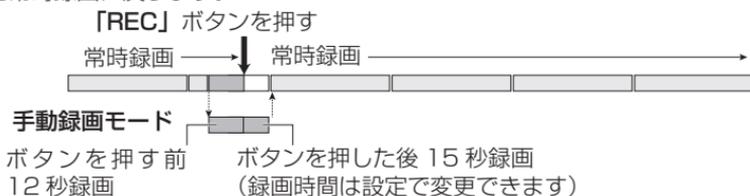
メモリーカード内の「PICTURE」フォルダに保存されます。(→ P.22)

手動録画モード

常時録画中にモニターのドライブレコーダー画面で「録画」にタッチする、または本機の「REC」ボタンを押すと、常時録画を中断して、手動録画モードを開始します。



- 手動録画モードの録画時間は、「録画」にタッチする、または「REC」ボタンを押す前の 12 秒と押した後の 15/30/60 秒の設定時間です。手動記録が終了すると常時録画に戻ります。



- 手動録画が終了する前にもう一度「録画」にタッチする、または「REC」ボタンを押すと、そこから設定されている録画時間延長されます。

お知らせ

- 手動録画モードは最大 10 ファイルまで保存されます。
- 10 ファイルを超えると古いファイルから順に上書きされますが、「手動録画ファイルの上書き保存」/「上書き設定(手動)」を「OFF」に設定しているときは古いファイルは上書きされず、その場合、最大 10 ファイルを超えると録画は開始されません。必要に応じて、メモリーカードのデータをパソコンに保存してください。

■ 録画ファイルの保存場所

メモリーカード内の「MANUAL」フォルダに保存されます。(→ P.22)

電源オフ時の駐車録画モード

本機の電源がオフになると駐車録画モードを開始します。

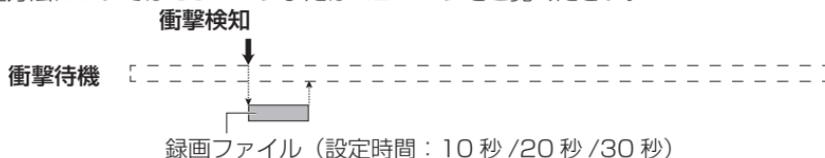
お知らせ

- 車両のエンジンスイッチをオフにする前に、本機の電源ボタンで本機の電源をオフにしたとき (→ P.13) は、駐車録画は動作しません。
- 車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には駐車録画は動作しないことがあります。

駐車録画モード

駐車録画モードは駐車中に車両に衝撃を受けると、本機の電源がオンになり録画が開始されます。録画が終了すると本機の電源がオフになり、待機状態に戻ります。

- お買い上げ時は、駐車録画モードが 10 秒になっています。
駐車録画モードを変更するには、29 ページの「駐車録画の録画時間」または 42 ページの「録画時間」を設定します。
- 駐車録画は衝撃を検知してから数秒後に録画がはじまります。
- 衝撃を検知する感度を設定することができます。設定値は 1～5 で、1 (大きな衝撃で検知します)～3 (標準)～5 (小さな衝撃で検知します) となります。設定方法については 30 ページまたは 42 ページをご覧ください。



お知らせ

- 駐車録画モードは最大 20 ファイルまで保存されます。20 ファイルを超えると古いファイルから順に上書きされますが、「駐車録画ファイルの上書き保存」/「上書き設定」を「OFF」に設定しているときは古いファイルは上書きされず、その場合、最大 20 ファイルを超えると録画は開始されません。必要に応じて、メモリーカードのデータをパソコンに保存してください。
- 駐車録画モードで録画された場合は、電源をオンにしたときに、音声ガイダンスでお知らせします。
- 「駐車録画発生のお知らせ」を ON に設定している場合、「駐車中にイベント記録を行いました」とメッセージが表示されます。
- ドアを閉めたときの振動を検出して、駐車録画モードが動作することがあります。

■ 乗車 / 降車時の駐車録画を無効にする

駐車録画モードは乗車 / 降車時のドアを閉めたときの振動を検知して、駐車録画モードが動作することがあります。乗車時 / 降車時のドアの振動を検知して、駐車録画モードを行わないようにするため、駐車録画モードを一定時間無効にすることができます。

お知らせ

- お買い上げ時は乗車 / 降車時ともに無効時間は「30 秒」に設定されています。設定を変更したいときは、29 ページまたは 42 ページをご覧ください。

録画または記録したファイルを再生する

1 ナビゲーションの「MENU」ボタンを押す

2 「ドライブレコーダー」にタッチする



ドライブレコーダーの映像が表示されます。

3 画面にタッチする



操作ボタンが表示されます。

4 「リスト」にタッチする



5 再生したい録画フォルダを選択する



6 再生したいファイルを選択する



録画ファイルの再生が映像表示モードで始まります。

録画ファイルの再生は地図表示モードと映像表示モードがあります。

地図表示モードは再生中のファイルの位置を地図で表示します。小画面に映像が表示されます。

映像表示モードは映像のみを表示してファイルに保護をかけたり、ズーム再生や映像調整などができます。

お知らせ

- フォルダやファイルの選択、または再生中は、録画が停止します。また、[REC] ボタンによる手動録画もできません。
- 操作ボタンは一定時間が過ぎると消えます。画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。
- 駐車録画のファイル再生は、駐車録画時にナビゲーションからの位置情報を取得できていないため、録画された場所の地図画面は表示されません。
- 地図は北側が画面の上方向になるように固定されます。
- ナビゲーションの [MENU] ボタンまたは [現在地] ボタンを押すと、常時録画モードに戻ります。
- 走行中は、再生操作ができません。

映像表示モード



- ①再生状態表示
- ②再生時間
- ③HDRが「ON」のときに表示 / 録画画質
- ④録画モード
- ⑤保護されたファイルのときに「」を表示
- ⑥ファイル名

[地図表示] にタッチすると地図表示モードに切り替わります。

■表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
地図表示	録画された場所の地図を表示します。小画面に映像が表示されます。
 / 	再生している録画ファイルの音量を調整します。
 / 	再生または一時停止します。
 / 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生中にタッチすると速度が2段階に切り替わり早送り / 早戻しします。 ・一時停止中にタッチするとコマ送り / コマ戻しします。 ・一時停止中にタッチし続けるとスロー再生になります。
 / 	前または次のファイルを再生します。
削除	再生しているファイルを削除します。
保護 / 保護解除	再生しているファイルを削除できないように保護したり、保護を解除します。保護したファイルを再生したときは、ファイル名の先頭に「  」マークが表示されます。(→ P.26)
ズーム	再生している映像を拡大表示します。(→ P.25)
映像調整	画質の調整をします。調整方法はナビゲーションの取扱説明書をご覧ください。
非表示	操作ボタンを消します。

地図表示モード



お知らせ

- ・地図表示モードでは地図をスクロールできません。
- ・地図の向きと縮尺は変えることができません。
- ・電源オフ/オンで地図表示モードは解除されます。

小画面の映像にタッチすると映像表示モードに切り替わります。

再生画像を拡大表示する

再生画像を拡大して表示します。

1 拡大表示したい画像ファイルを再生する

2 「ズーム」にタッチする



3 「拡大」または「縮小」にタッチして倍率を選択する



倍率は等倍、2倍、4倍から選択できます。

4 表示させたい位置をタッチする



タッチした位置を中心に表示します。

お知らせ

- 操作ボタンは一定時間が過ぎると消えます。「表示」にタッチすると操作ボタンが表示されます。
- 「非表示」にタッチしても操作ボタンを消すことができます。
- 走行中は、再生操作ができません。

ファイルを保護または削除する

ファイルを保護する

録画ファイルまたは静止画ファイルを保護、または解除することができます。

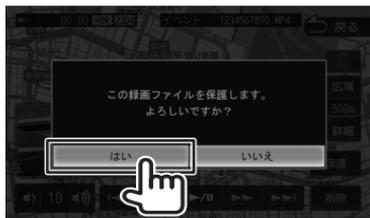
お知らせ

- ・ 常時録画ファイルは保護できません。

- 1 保護したいファイルを再生する
- 2 地図表示モードまたは映像表示モード画面の「保護」にタッチする



- 3 「はい」にタッチする



ファイル名の先頭に「🔒」マークが表示されます。

■ ファイル保護を解除する

- 1 保護されたファイルを再生する
- 2 地図表示モードまたは映像表示モード画面の「保護解除」にタッチする



- 3 「はい」にタッチする

ファイル名の先頭の「🔒」マークが消えます。

ファイルを削除する

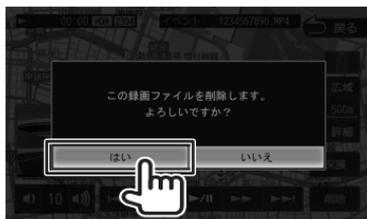
録画ファイルまたは静止画ファイルを削除することができます。

■ ファイルを削除する

- 1 削除したいファイルを再生する
- 2 地図表示モードまたは映像表示モード画面の「削除」にタッチする



- 3 「はい」にタッチする



再生中のファイルが削除されます。

■ フォルダごとに削除する

1 ナビゲーションの「MENU」ボタンを押す

2 「ドライブレコーダー」にタッチする



3 画面にタッチする



操作ボタンが表示されます。

4 「リスト」にタッチする



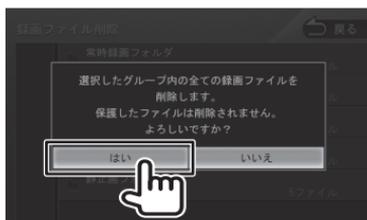
5 「削除」にタッチする



6 削除したいフォルダを選択する



7 「はい」にタッチする



選択したフォルダ内のファイル全てを削除します。

お知らせ

- 保護ファイルを削除するときは、保護を解除します。
- 走行中は、削除操作ができません。

設定を変更する

本機の設定を変更するには、本機と接続しているナビゲーションの設定メニューで設定する、またはビューアースフトで設定することができます。ここではナビゲーションで設定する操作について説明します。ビューアースフトで設定する場合は41ページをご覧ください。

お知らせ

- メニュー表示中は録画を停止します。

1 ナビゲーションの「MENU」ボタンを押す

2 「ドライブレコーダー」にタッチする



3 画面にタッチする



操作ボタンが表示されます。

4 「設定」にタッチする



5 各項目を設定する



お知らせ

- 設定中は、録画が停止します。また、[REC] ボタンによる手動録画もはたらかません。
- ナビゲーションの [MENU] ボタンまたは [現在地] ボタンを押すと、常時録画モードに戻ります。
- 走行中は、設定操作ができません。

*: お買い上げ時の設定

項目	設定	説明
録画画質	1280×720/ 1280×720(HDR)/ 1920×1080/ 1920×1080(HDR)*/ 2304×1296	録画する解像度を設定します。 (HDR)に設定すると、明暗差の大きなシーンの撮影も白とびや黒つぶれを抑えて被写体を録画します。 (録画モード別に画質の設定はできません。)
記録方式	映像+音声*/ 映像のみ	録画時にマイクの音声を記録するかどうかを設定します。
駐車録画	ON*/OFF	駐車時 (ACC OFF 時) に、車両の衝撃を検出して、録画を開始するかどうかを設定します。
駐車録画開始時間 設定 (降車時)	OFF/30 秒間*/ 1 分間 /3 分間	エンジンスイッチをオフにしてから駐車録画を一定時間無効にする時間を設定します。
駐車録画停止時間 設定 (乗車時)	OFF/30 秒間*/ 1 分間 /3 分間	エンジンスイッチをオンにする前の駐車録画を一定時間無効にする時間を設定します。
駐車録画発生のお知らせ	ON*/OFF	駐車時に駐車録画が発生すると、電源をオンにしたときに音声と画面に表示 (「駐車中にイベント記録を行いました。」) してお知らせします。「OFF」に設定するとお知らせしません。
常時録画の 1 ファイル毎の録画時間	1 分間*/2 分間/ 3 分間	常時録画 (連続録画) の録画時間を設定します。録画時間毎に区切って録画します。
手動録画の録画時間	15 秒間*/30 秒間/ 1 分間	手動録画の時間を設定します。手動録画前の録画時間は 12 秒に設定されます。
イベント記録の録画時間	15 秒間*/30 秒間/ 1 分間	衝撃感知後の録画時間を設定します。車両の衝撃を検出前の録画時間は 12 秒に設定されます。
自動静止画連続撮影の撮影間隔	1 分 /5 分*/15 分/ 30 分	自動静止画撮影機能で撮影する間隔を設定します。(→ P.19)
自動静止画連続撮影の撮影枚数	10 ファイル/ 30 ファイル*/ 50 ファイル	自動静止画撮影機能で撮影する枚数を設定します。(→ P.19)
駐車録画の録画時間	10 秒間*/20 秒間/ 30 秒間	衝撃感知後の駐車録画の録画時間を設定します。
手動録画ファイルの上書き保存	ON*/OFF	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかどうかを設定します。
イベント記録ファイルの上書き保存	ON*/OFF	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかどうかを設定します。

項目	設定	説明
駐車録画ファイルの上書き保存	ON*/OFF	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかしないかを設定します。
操作音の音量	0/1/2*/3	本機から出力する報知音や音声ガイダンスなどの音量を設定します。 0 (消音) / 1 (小) / 2 (標準) / 3 (大)
イベント記録の動作感度	レベル 1/2/3*/4/5	車両の衝撃を検出する感度を設定します。 1 (大きな衝撃で検知します) ~ 3(標準) ~ 5 (小さな衝撃で検知します)
駐車録画の動作感度	レベル 1/2/3*/4/5	駐車中の車両の衝撃を検出する感度を設定します。 1 (大きな衝撃で検知します) ~ 3(標準) ~ 5 (小さな衝撃で検知します)
バージョン情報	-	本機のファームウェアのバージョンを表示します。
SD カード初期化	全てのファイルを消去し、SD カードをフォーマットします。 (→ P.44)	
設定の初期化	本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。	

ビューアソフトを使う

DRK-H67 Viewer は、本機で記録した映像と音声を再生するためのパソコン用の専用ビューアソフトです。また、本機の設定やデータのバックアップなどを行います。インストーラーは本機に付属のメモリーカードに保存されています。

DRK-H67 Viewer の動作環境

OS	Windows 7 Service Pack 1 (32Bit/64Bit) Windows 8.1/8.1Pro (32Bit/64Bit) Windows 10 (32Bit/64Bit) Windows10 mobile は除く
CPU	Intel Core i3 2GHz 以上
メモリ	2GB 以上
ディスプレイ	1280x800 以上
サウンド	Windows で使用可能な PCM サウンド再生機能
その他	インターネット接続環境が必要です。

- Windows 7、Windows 8.1、Windows 10 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Google Earth は、Google Inc の商標または登録商標です。
- Intel Core は、Intel Corp. の登録商標または商標です。

お知らせ

- ・ご使用のパソコンによっては、再生時に映像が乱れたり音声が途切れたりする場合があります。その場合は、ビューアソフトを終了させ、再度ビューアソフトを起動して映像を再生してください。

インストールする

- 1 メモリーカードを本機から取り外し (→ P.14)、付属のSDカード変換アダプターに挿入してから、カードリーダーを使用してパソコン に接続する
- 2 インストーラー「Setup.msi」をパソコン内の任意の場所 (デスクトップなど) にコピーする
- 3 コピーした「Setup.msi」をダブルクリックする



- 4 セットアップウィザード画面の指示に従ってインストールを進める



お知らせ

ユーザーアカウント制御の警告ウィンドウが表示された場合は、[はい] をクリックしてください。

- 5 「完了」をクリックする
インストールが完了します。

ビューアソフトを使う

メモリーカードのインストーラーを消去してしまったときは

メモリーカードの保存されているビューアソフトのインストーラー「Setup.msi」をメモリーカードのフォーマットなどで消去してしまったときは、当社ホームページ <http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/daihatsu> にアクセスしてインストーラーをダウンロードすることができます。

準備

- 1 メモリーカードを本機から取り外し (→ P.14)、付属のSDカード変換アダプターに挿入してから、カードリーダーを使用してパソコンに接続する
- 2 「スタート」 - 「すべてのプログラム」 - 「DRK-H67 Viewer」 - をクリックして起動する

お知らせ

- DRK-H67 Viewer を使用するときには他のアプリケーションは閉じてください。同時に立ち上げていると動作が遅くなることがあります。

画面の操作



① 拡大表示機能

再生している映像画面の上下左右の場所を拡大したり、任意の場所を拡大表示します。

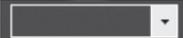
ボタン	説明
	拡大表示したときに押すと、通常画面に戻ります。
	画面左上、右上、右下、左下を拡大（2倍）表示します。
	表示される枠（①）を拡大したい位置に動かして、拡大率（②）をクリックするたびに1倍/2倍/3倍/4倍/5倍で拡大表示します。 [リセット]（③）を押すと等倍表示（1倍）になります。

② メニュー

ファイル

開く	フォルダを選択する	読み込むファイルが入っているフォルダを選択します。
	kmz/kml* にエクスポート	Google Earth に読み込むためのデータを出力します。
	バックアップ	データをバックアップするフォルダを選択します。
終了	ビューアソフトを終了します。	

*kml ファイルまたは kmz ファイルは Google Earth に読み込むためのデータです。

 (ドライブ一覧)

メモリーカードのドライブを選択します。

設定

本体設定	メモリーカードに設定ファイルを書き込みます。
------	------------------------

ヘルプ

バージョン	ビューアソフトのバージョンが確認できます。
-------	-----------------------

③ 映像再生画面

映像を再生または表示する画面です。

④トラックバー / 再生時間



動画情報の再生位置を示します。再生位置に応じて、地図およびグラフの現在位置を更新します。

00:00:12/00:02:00

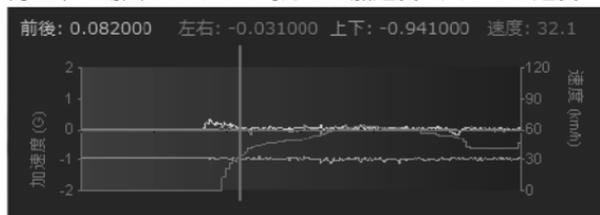
再生時間 / 総再生時間

⑤再生操作ボタン

ボタン	説明
	前 / 次のファイルを再生します。
	前 / 次のコマを表示します。
	再生を停止します。
	再生します。
	一時停止します。
	クリックすると再生中の動画を静止画として保存します。
	クリックするたびに $\times 1 \cdot \times 2 \cdot \times 4 \cdot \times 8 \cdot \times 1/2$ と再生速度が切り替わります。
	音量を調整 (0 ~ 100) します。

⑥グラフ

再生中の動画ファイルに対応した加速度の大きさと速度の折れ線グラフです。



⑦再生中のファイルのパス

再生中のファイルの格納場所を表示しています。

x:\p\F\進行データ\20160715_1000_K9_A12&20_0_19_SP_外撮り\NORMAL\160715102505.MIV

160715102505.NMEA Found

⑧スピードメーター

再生している動画ファイルの車両速度を表示します。



お知らせ

- 録画中にトンネルを走行しているときなど GPS が受信できない状態が約 15 秒続くと車両速度の表示は 0 (ゼロ) になります。
- 表示している車両速度はあくまで目安です。

⑨種類別一覧

表示をクリックすると③映像再生画面に録画または記録された映像が表示され、再生が開始されます。



「ファイル」、「静止画」の場合：
記録開始日時 / ファイルの格納場所
「イベント」の場合：
記録開始日時 / イベント名

ファイルの先頭位置の映像

①ファイル

すべての動画ファイルの一覧を表示します。

②イベント

手動録画、イベント（衝撃）記録、駐車録画のファイルの一覧を表示します。

③静止画

静止画ファイルの一覧を表示します。

⑩地図表示ボタン

⑨の見たファイルをクリックすると、選択した動画ファイルの位置情報が地図上に表示されます。

地図が表示されていないときは **マップ▲** をクリックしてください。



- ① 地図を拡大 / 縮小します。
- ② 緯度・経度を表示します。
- ③ 地図を再読み込みします。
- ④ 地図を別ウィンドウで開きます。
- ⑤ 地図を非表示にします。 **マップ▲** をクリックすると地図を表示します。
- ⑥ 地図上に表示される経路やアイコンの表示・非表示を選択できます。
- ⑦ 広域の地図で表示します。
- ⑧ 経路

2日以上経路を表示しているときは、日ごとに色を変えて表示します。

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
青	赤	緑	白	マゼンタ	水色	黄色

- ⑨ 選択中のファイルの自転車位置を表示します。

- ⑩ 各ファイルの先頭位置

アイコンにマウスカーソルを合わせるとファイルの先頭位置の映像が表示されます。クリックすると該当ファイルを再生します。

お知らせ

- メモリーカードの容量（常時録画）またはファイル数の制限（手動録画、イベント（衝撃）記録、駐車録画）によりファイルが消去されます。消去された部分については地図上に表示されません。
- 起動直後やビル街、トンネル、高架下などの受信環境が悪い場所の走行やGPS衛星の状態によっては、GPSの情報が正常に受信できずに、地図上での自転車位置ずれや速度が正しく表示されないことがあります。

Google Earth で使用するデータを出力して読み込む

お知らせ

- データを出力する前に、お使いのパソコンに Google Earth をインストールしてください。Google Earth は、Google のサイトからダウンロードできます。

- 1 メモリーカードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 ビューアソフトを起動する
- 3 メニューの「ファイル」－「フォルダを選択する」をクリックする



- 4 Google Earth で使用するデータを出力するフォルダを選択する



- 5 メニューの「ファイル」－「kml/kmlにエクスポート」をクリックする



- 6 保存先を選択し、保存するファイル名を入力して、「保存」をクリックする



お知らせ

- kmz は kml ファイルを zip 圧縮したものです。どちらのファイルでも Google Earth で読み込むことができます。

7 「出力が完了しました」と表示されたら「OK」をクリックする

8 Google Earth を起動する

9 見たいファイルを選択する

画面左側に保留フォルダと保存したデータのファイル名が表示されます。ファイル名をクリックすると保存したデータが表示されます。



フォルダのし点を外すと外したデータの表示が地図から消えます。

お知らせ

- Google Earthの操作についてはGoogle Earthのヘルプなどをご覧ください。

メモリーカードのデータをパソコンにバックアップする

メモリーカードは容量の関係から、保存しておける映像の数が限られています。メモリーカード内の必要な映像データはパソコンのハードディスクなどに定期的にバックアップしてください。ビューアソフトを使ってメモリーカードの記録データをバックアップすると、位置情報などのシステムファイルと関連付いたまま保存することができます。

バックアップフォルダを設定する

- 1 メモリーカードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 ビューアソフトを起動する
- 3 メニューの「ファイル」－「フォルダを選択する」をクリックする



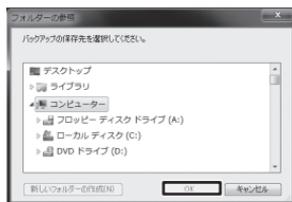
4 メモリーカードのバックアップをするデータが入っているフォルダを選ぶ



5 メニューの「ファイル」－「バックアップ」をクリックする



6 バックアップする保存先を選択して、「OK」をクリックする



7 バックアップするファイルにチェックを付けて「実行」をクリックする



ファイル

最初はすべてのファイルに「レ」点が入ります。

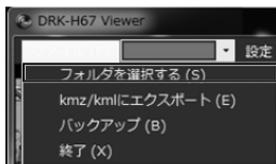
バックアップしないデータは「レ」点をクリックして選択を解除してください。

お知らせ

- 「全解除」をクリックするとすべての「レ」点が解除されます。
- 「全選択」をクリックするとすべてに「レ」点が付きます。
- バックアップデータのフォルダ名は手順5でバックアップをクリックしたときの日時になります。変更したい場合は「作成するフォルダ」を書き替えることができます。
- 「変更」をクリックするとバックアップ先を変更することができます。

8 メッセージが表示されたら「はい」をクリックする**お知らせ**

- バックアップの保存先を設定していない場合は、「マイ ビデオ」または「ビデオ」（ご使用の Windows のバージョンによって異なります）に設定されています。

バックアップした映像を見る**1 ビューアソフトを起動する****2 メニューの「ファイル」－「フォルダを選択する」をクリックする****3 バックアップしたデータのフォルダを選ぶ****4 見たい映像ファイルのフォルダを選択する**

再生画面が表示され、動画ファイルを再生することができます。

本体の設定を変更する

ビューアソフトで本体の設定を変更することができます。設定をメモリーカードに保存します。

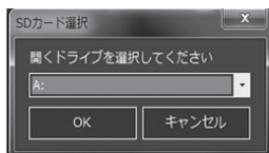
メモリーカードを本機に挿入し、電源をオンにすると、自動的に本体の設定を変更することができます。

設定を変更する

- 1 メモリーカードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 ビューアソフトを起動する
- 3 メニューの「設定」をクリックして「本体設定」をクリックする



- 4 メモリーカードを接続しているドライブを指定して「OK」をクリックする



- 5 各設定を変更する (42 ページ)

お知らせ

- メモリーカードに設定データがない場合、またははじめてご使用になる場合は、「設定ファイルが読み込めません」とメッセージが表示されますので「OK」をクリックしてください。
- メモリーカードに以前の設定が保存されている場合、または本機のメニューで設定を変更した場合は、以前の設定が設定画面に表示されます。

■ 駐車録画の設定をする

「駐車録画設定」をクリックする

*: お買い上げ時の設定

項目	設定	説明
録画時間	OFF/10 秒*/ 20 秒/30 秒	衝撃感知後の駐車録画の録画時間を設定します。
上書き保存 (常時録画と静止 画記録は除く)	OFF/ON*	録画ファイル数がいっぱいになったときに古い ファイルに上書きをするかしないかを設定します。
感度設定	1/2/3*/4/5	駐車中の車両の衝撃を検出する感度を設定します。 1 (大きな衝撃で検知します) ~ 3(標準) ~ 5 (小さな衝撃で検知します)
駐車録画開始時間 設定 (降車時)	OFF/30 秒後* /1 分後 /3 分後	エンジン停止から衝撃検出を開始するまでの時間 を設定します。
駐車録画停止時間 設定 (乗車時)	OFF/30 秒前* /1 分前 /3 分前	指定時間からエンジンスタートまでの間に記録さ れた駐車録画を自動で削除します。
駐車録画発生のお 知らせ	OFF/ON*	駐車時に駐車録画が発生すると、電源をオンにし たときに音声と画面に表示 (「駐車中にイベント記 録を行いました。’) してお知らせします。 「OFF」に設定するとお知らせしません。

■ 動画記録の設定をする

「動画記録設定」をクリックする

*: お買い上げ時の設定

項目	設定	説明
音声記録	OFF/ON*	録画時にマイクの音声を記録するかしないかを設定します。
常時録画 ファイル長	1 分*/2 分 /3 分	常時録画モードで 1 ファイルに記録する時間を設定します。 常時録画モードの録画ファイルは、設定時間ごとに保存さ れます。
手動録画時間	15 秒*/30 秒 /1 分	手動録画でボタンを押した後の記録時間を設定します。
イベント記録 時間	15 秒*/30 秒 /1 分	イベント (衝撃) 記録モードで衝撃を検知後の記録時間 を設定します。
上書き保存 (手動)	OFF/ON*	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上 書きをするかしないかを設定します。
上書き保存 (イベント)	OFF/ON*	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上 書きをするかしないかを設定します。
解像度	2304×1296/ 1920×1080* /1280×720	常時録画モード、イベント (衝撃) 記録モード、手 動録画モード、駐車録画モードの画質を設定します。 (個別に画質の設定はできません。)(HDR 記録が ON で は 2304 × 1296 に設定できません。)

HDR 記録	OFF/ON*	ON に設定すると、明暗差の大きなシーンの撮影も白とびや黒つぶれを抑えて被写体を録画します。(解像度が 2304 × 1296 では ON に設定できません。)
感度設定	1/2/3*/4/5	車両の衝撃を検出する感度を設定します。 1 (大きな衝撃で検知します) ~ 3 (標準) ~ 5 (小さな衝撃で検知します)

■ 静止画記録の設定をする

「静止画記録」をクリックする

*: お買い上げ時の設定

項目	設定	説明
自動撮影 間隔	1 分 / 5 分 * / 15 分 / 30 分	自動静止画撮影機能で撮影する間隔を設定します。 (→ P.19)
自動撮影 枚数	10 枚 / 30 枚 * / 50 枚	自動静止画撮影機能で撮影する枚数を設定します。 (→ P.19)

■ システムの設定をする

「システム設定」をクリックする

項目	設定	説明
通知音量	OFF / 1 ~ 3 (お買い上げ時は 2 です。)	報知音と音声ガイダンスの音量を設定します。
再生音量	OFF / 1 ~ 10 (お買い上げ時は 5 です。)	動画の再生音量を設定します。

6 「OK」をクリックする

設定をメモリーカードに保存します。

メモリーカードをフォーマットする

映像を再生したり、ファイルをバックアップしたりする際にエラーが表示される時は、メモリーカードのデータが破損している可能性がありますので、メモリーカードをフォーマットしてください。

フォーマットの方法は、本機が接続しているナビゲーションを操作してフォーマットする、または専用サイトにアクセスしてフォーマットする方法があります。

お知らせ

- 基本的にメモリーカードのフォーマットは必要ありません。メモリーカードで書き込み・読み込みエラーが発生する場合、または本機が起動しない場合のみフォーマットしてください。
- パソコンに標準のSDカードフォーマットは使用しないでください。
- メモリーカードをフォーマットすると、microSDメモリーカードのビューアソフトのインストーラーおよび保護されているファイルを含めすべてのデータが消去されます。ビューアソフトをパソコンにインストールしていない場合は、先にビューアソフトをパソコンにインストールしてください。また、必要なデータがある場合は、必ずパソコンなどにバックアップしてください。

ナビゲーションを操作してフォーマットする

1 ナビゲーションの「MENU」ボタンを押す

2 「ドライブレコーダー」にタッチする



3 画面にタッチする



操作ボタンが表示されます。

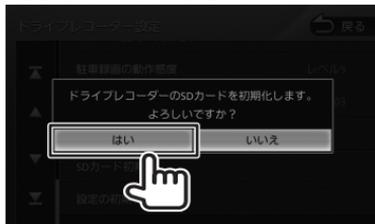
4 「設定」にタッチする



5 「SDカード初期化」にタッチする



6 「はい」にタッチする



SDカードを初期化します。

7 「戻る」にタッチして設定を終了する

専用サイトにアクセスしてフォーマットする

- 1 メモリーカードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 SD メモリーカードフォーマットソフトウェアを準備する
SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをお使いのパソコンへインストールします。インストール手順は、専用サイトを参照ください。
 - (1) Internet Explorer などのウェブブラウザを起動し、専用サイト <http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/daihatsu> にアクセスします。
 - (2) 「SD メモリーカードフォーマットソフトウェア」を選択してください。
 - (3) 記述されている手順に従って、SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをインストールしてください。
- 3 SD メモリーカードフォーマットソフトウェアを起動する
[スタート] → [すべてのプログラム] → [SDFormatter] → [SDFormatter] を選択します。
- 4 [フォーマット] ボタンをクリックする
選択されたドライブがメモリーカードを挿入したドライブになっていることを必ず確認してからフォーマットしてください。
異なるドライブが選択されている場合は、[更新] ボタンをクリックし、メモリーカードを挿入したドライブを選択してください。
- 5 フォーマットが終わると、確認ダイアログが表示されるので、[OK] ボタンをクリックする
- 6 [終了] ボタンをクリックする

よくある質問

■ 本体

質問事項	回答
記録した音声小さい。	本機の録音機能は音声を録音する目的ではなく、映像の補助としての周囲の音を記録する目的のため、記録音量は低めに設定されています。もし、録音された音が極端に小さいようであれば、本機の内蔵マイク（集音部）が覆われているようなことがないか、ご確認ください。
車両の電源を入れてもLEDが点灯しない、または電源が入らない。	本機に電源が供給されていない可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
録画や再生がうまくできない。	メモリーカードのフォーマットを行ってください（→ P.44）。それでも正常に記録できないときは、お買い上げの販売店にご相談してください。
報知音の音量が小さい	ビューアーソフト（→ P.43）で音量を変更できます。
録画または記録したはずの映像がありません。	本機は常時記録型の映像記録装置です。メモリーカードの記録可能時間や記録件数の上限を超えると、古い記録から上書き保存されるため録画または記録したファイルが無くなることがあります。必要に応じて、メモリーカードのデータをパソコンのハードディスクなどに保存してください。上書き保存しないように設定することもできますが、「上書き保存」の設定を「OFF」にしているときは、上限を超えると報知音（→ P.12）が鳴り、それ以上の記録または録画は開始されません。
走行中、頻繁にイベント（衝撃）記録モードの録画が実施されます。	ビューアーソフトでセンサー感度を調整する（→ P.42）ことができます。
本体が熱くなることがあるが異常ではありませんか。	使用温度範囲内での使用にて本体が熱くなることがあります。本体の動作により発熱しているだけで、異常ではありません。
信号の色が記録されないことがある。	映像の記録周期と LED 方式の信号機の点滅周期によっては、一瞬信号が消えて見える場合があります。また、逆光等の環境によっては信号が確認できない場合があります。その場合は、前後の映像や周囲の車両の状況から判断してください。信号が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
エンジンを切っても本機の電源が切れない。	エンジンを切り、エンジンスイッチがオフになっても本機の電源がオフにならない場合は、駐車記録モードが動作しています。駐車録画設定の駐車時間を「OFF」に設定しても電源がオフにならない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本体が起動しません。	お買い上げの販売店にご相談ください。
メモリーカードに、映像が記録できません。	<ul style="list-style-type: none"> • 本機に付属または純正のメモリーカードを使用していない可能性があります。付属または純正のメモリーカードを必ず使用してください。市販のメモリーカードでの動作は保証できません。 • メモリーカードに異常がある可能性があります。メモリーカードのフォーマットを行ってください (→ P.44)。ただし、フォーマットをするとメモリーカードのデータはすべて消去されます。必要なデータはパソコンなどにバックアップしてください。 • 本機の温度が高温になっている場合は、車内の温度を下げてください。保護機能が解除され録画ができるようになります。
記録時間が短く記録されています。	常時録画モードの映像が多く記録されていると、常時録画の時間は短くなります。また、メモリーカードにドライブレコーダーとは関係のないファイルが入っていても、記録領域が狭くなるため記録時間が短くなります。
音声ガイダンスや報知音をオフにしたい。	ビューアソフトで通知音量を「OFF」、またはナビゲーションで操作音の音量を「0」に設定することでオフにできます。

■ ビューアソフト DRK-H67 Viewer

質問事項	回答
イベント(衝撃)記録モードで録画された動画を再生した場合に、再生時間が設定した時間より短いものがある。	電源をオンにした後すぐに衝撃を検知した場合や衝撃検知した後すぐに電源をオフした場合には、設定した時間より短い映像になります。
記録できた映像は、事故の証拠として認められるのですか？	本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。
記録した映像は、Windows Media Player等の汎用ソフトで見るとはできますか？	再生ソフトによっては再生できない場合があります。また、速度や位置などの情報は確認できません。
ビューアソフトを消してしまった。	専用サイトからインストーラーをダウンロード (→ P.32) し、再度インストールしてください。

質問事項	回答
<p>パソコンにメモリーカードを挿入しても認識しません。</p>	<p>メモリーカードが正しく挿入されていない可能性があります。再度メモリーカードやカードアダプターを挿入しなおしてください。また、カードリーダーを使用している場合、カードリーダー自体が正しくパソコンで認識できていない可能性もあります。カードアダプターからメモリーカードを取り出して、挿しなおしてください。カードリーダーについてはカードリーダーに付属の説明書を参照してください。</p>
<p>ビューアソフトが起動しない。</p>	<p>ビューアソフトの動作環境をご確認ください。問題がない場合は、再度インストールしなおしてください。</p>
<p>再生ボタンを押しても映像の再生が始まらない。</p>	<p>ファイルを読み込み直してください。それでも再生しないときはファイルが壊れている可能性があります。</p>
<p>再生ボタンを押しても映像は再生されるが、音が出ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 音声記録が「OFF」の設定 (→ P.42) になっている可能性があります。また、ビューアソフトの音量設定またはパソコンの音量設定が最小になっていないかご確認ください。 • 設定を変更しても音が出ない場合は、本機の内蔵マイク (集音部) が覆われていないかご確認ください。
<p>再生時に映像が乱れたり音声が途切れたりする。</p>	<p>ご使用中のパソコンが推奨する動作環境を満たしているかご確認ください (→ P.31)。パソコンのスペックが低かったり、他のアプリケーションが起動していると再生や音声が途切れることがあります。</p>
<p>地図の自転車位置が実際とずれている。</p>	<p>トンネルや高架下、ビル街など走行する場所や、GPS 衛星の状態によっては、GPS の情報が正常に受信できず、位置がずれることがあります。</p>
<p>速度が実際とずれている。</p>	<p>速度はナビゲーションの車速情報から取得しているため、ナビゲーションのセンサー学習状況や GPS 衛星の状態によっては、速度がずれた表示になることがあります。</p>
<p>スムーズに再生されない。</p>	<p>DRK-H67 Viewer の他にアプリケーションが起動している場合は、他のアプリケーションを閉じてください。</p>

主な仕様

■ 本体

動作温度範囲	- 20 ~ + 65℃
保存温度範囲	- 30 ~ + 85℃
本体サイズ	W79 × H22 × D48 mm (マウントブラケット搭載時 H51mm)
質量	約 80g (ブラケット、ケーブル含まず)
電源電圧 (動作電圧範囲)	14V (8.5 ~ 16V)
最大消費電流	0.4A (電源電圧 14V 時)
G センサー	内蔵、最大 4.0G、0.1G 単位
記録媒体	microSD カード (同梱 : 8GB)

■ 映像仕様

映像素子	1/3 型カラー CMOS
有効画素数	3M (センサー画素数 4M)
撮影画角	水平 117° × 垂直 63°
記録フレーム数	27fps
画像サイズ	2304 × 1296 1920 × 1080 1280 × 720
記録フォーマット	MOV(H.264+LPCM)
HDR	ON/OFF (解像度が 2304 × 1296 の場合 OFF 固定)

これらの仕様およびデザインは、お客様に予告なく変更になる場合があります。

免責事項について

- お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

著作権について

- 録画・撮影・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

ソフトウェアについて

MD5 utility

/* crypto/md5/md5.h */
Copyright (C) 1995-1998 Eric Young
(eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"

The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The license and distribution terms for any publicly available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution license [including the GNU Public License.]

CRC utility

COPYRIGHT (C) 1986 Gary S. Brown. You may use this program, or code or tables extracted from it, as desired without restriction.

First, the polynomial itself and its table of feedback terms. The polynomial is $X^{32} + X^{26} + X^{23} + X^{22} + X^{16} + X^{12} + X^{11} + X^{10} + X^8 + X^7 + X^5 + X^4 + X^2 + X^1 + X^0$

Note that we take it "backwards" and put the highest-order term in the lowest-order bit. The X^{32} term is "implied"; the LSB is the X^{31} term, etc. The X^0 term (usually shown as "+1") results in the MSB being 1

Note that the usual hardware shift register implementation, which is what we're using (we're merely optimizing it by doing eight-bit chunks at a time) shifts bits into the lowest-order term. In our implementation, that means shifting towards the right. Why do we do it this way? Because the calculated CRC must be transmitted in order from highest-order term to lowest-order term. UARTs transmit characters in order from LSB to MSB. By storing the CRC this way we hand it to the UART in the order low-byte to high-byte; the UART sends each low-bit to high-bit; and the result is transmission bit by bit from highest- to lowest-order term without requiring any bit shuffling on our part. Reception works similarly. The feedback terms table consists of 256, 32-bit entries. Notes

The table can be generated at runtime if desired; code to do so is shown later. It might not be obvious, but the feedback terms simply represent the results of eight shift/xor operations for all combinations of data and CRC register values

The values must be right-shifted by eight bits by the "updcrc" logic; the shift must be unsigned (bring in zeroes). On some hardware you could probably optimize the shift in assembler by using byte-swap instructions polynomial $\text{\$edb88320}$ CRC32 code derived from work by Gary S. Brown.

オープンソースソフトウェアについて

ビューアソフトには、GNU General Public License, version 3 その他のソースコードの配布を要求しているオープンソースソフトウェアライセンスのもとでライセンスされているソフトウェアが含まれています。これらのソフトウェアのソースコードは、以下の専用サイトからダウンロードいただけます。

<http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/daihatsu>

About Open Source Software included in the viewer software

This viewer software includes certain open source or other software originating from third parties that is subject to the GNU General Public License version 3 (GPLv3) and different copyright licensees, disclaimers and notices. The source code of software licensed under GPLv3 and different copyright licenses, disclaimers and notices are distributed at the website below,
<http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/daihatsu>

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証について

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

修理を依頼されるときは

「よくある質問」(→ P.46) を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は…

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店にご遠慮なくお問い合わせください。

発売元

ダイハツ工業株式会社